

令和4年度の具体的な学校経営目標・計画

岡山県立瀬戸高等学校

<評価基準> A：目標を上回った B：ほぼ目標どおり C：目標を下回った

学校経営目標	担当	具体的計画	現状及び今年度の達成基準	中間達成状況	評価	最終達成状況	評価	総合
①授業改革を進め、ICT機器を効果的に活用するとともに、主体的・対話的で深い学びを実践することで、授業が自分事となる学びを実現する。 (尚学)	教務課	<ul style="list-style-type: none"> 生徒につけたい6つの力の視点に立った授業を研究し、実践する。 1・2年次に導入されるChromebookを、すべての教科で毎週どこかの授業で使用するよう活用促進をはかる。 1年次において、新学習指導要領に対応した授業・評価を実践していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校改善アンケート(生徒対象)の「授業や補習に積極的に取り組んでいますか」の質問項目において肯定的評価が85%以上(前年度88%)、「授業はわかりやすいですか」の質問項目において肯定的評価が85%以上(前年度84%)になる。 1年次のすべての教科で、初見問題を取り入れることや、思考力・判断力・表現力を問う定期考査の作問に取り組む。 					
	進路指導課	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が自走できるように、ひたぶるタイム等、主体的に取り組む活動を通して、確かな学力と考える力・表現する力を育成できるように計画・立案・運用し、進路保障の一助とする。 実力考査のあり方を1年かけて検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> 普段の授業時間の中で、生徒の主体的活動が展開される場面を意識的に設ける。 キャリア・デザイン室を中心に、学びを自走させクリエイティブな生徒を育てる授業改革を推進する。 各学期で多様な授業実践を公開し、意見交換を行う。 					
	1年	<ul style="list-style-type: none"> 授業を第一に、予習・復習をしっかりとさせる。 学習実態調査をファイルに蓄積することで、生徒が成長を実感できるようにさせる。 提出物を必ず提出させる。未提出の者には積極的に声かけを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 具体的計画に関する学期毎の振り返りシートによる調査において、肯定的回答が増加することを目指す。 学習実態調査の家庭学習時間が1週間平均で3時間確保できることを目指す。 学校改善アンケート「宿題や提出物は期限を守って提出できていますか。」の質問項目において肯定的評価が80%以上を目指す。 					
	2年	<ul style="list-style-type: none"> 「予習」→「授業」→「復習」の学習サイクルを維持させ、自分のための勉強をさせる。 「瀬戸高学びのスタンダード」を遵守させる。 課題・提出物を必ず提出させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 具体的計画に関する学期毎の振り返りシートによる調査において、肯定的回答が85%以上になることを目指す。 学習実態調査の家庭学習時間が平日3時間、休日5時間確保できることを目指す。 学校改善アンケート「宿題や提出物は期限を守って提出できていますか。」の質問項目において肯定的評価が85%以上になることを目指す。 					
3年	<ul style="list-style-type: none"> 受験に対応した、確かな学力・表現力の育成を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業、定期考査、補習、模試などの学習活動に真剣に取り組ませる。 学習実態調査や個人面談を通して、何をどのように学習すべきかを考えさせ、家庭学習時間の確保(平日5時間・休日7時間)ができるよう指導する。 						

<p>②生徒が主体的に行動し、自らの成長を実感できる取組を進め、将来は自立した社会の構成者として活躍する素地となる、より良くなるようとする力の育成を行う。</p> <p>(自主)</p>	<p>教務課</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒主体のオープンスクールを企画・運営することで、生徒の主体性を養うとともに、本校の魅力発信に繋げていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年同様、オープンスクールにおいて、生徒からアイデアを募り、生徒主体の新たな取り組み企画にさらに挑戦してみる。 ・オープンスクールの中3生参加者数を、一昨年の300人以上にする。 			
	<p>生徒課</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒会主催の学校行事で、生徒主体の活動を実践するとともに、生徒自身が計画・運営し、全校生徒で行事を盛り上げることができるよう支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・瀬戸高祭アンケートの満足度において、全体的に「よい」の数値で90%前後の満足度を維持する。特に1,2年生については、Chromebookを活用して、アンケートの精度をあげる。(昨年度97.2%。) ・令和5年度導入の新制服について、生徒会が中心となって、生徒主体でデザイン等を決めてゆく。できるだけ中学生も関わられるよう取り組みを工夫する。 			
	<p>進路指導課</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個々の進路実現に向けて、様々な活動ができるよう、情報や機会の提供を面談・研修会などで進めていく。 ・新しい入試制度に対して、最新の情報収集と情報提供を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・面接週間時の内容ポイントを学年団で共有し、共通理解を図りながら充実した面談が出来るようにする。 ・3年生はひたぶるタイム等の成果を踏まえ、個人の進路選択について視野の拡大・深化をはかり、個の学びに4月当初の早い時期から繋げていく。 ・進路検討会等の機会を利用して、教員研修の時間を学期に1回以上持つ。 ・学校改善アンケート(生徒)における進路情報提供に関する満足度を昨年度(88%)より高める。 			
	<p>厚生課</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健委員会や環境・防災委員会の活動推進を行う。 ・生徒自らが、健康や防災に関心を持ち、様々な体験を通して学んでいく姿勢を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各委員会がそれぞれの立場で、健康や防災等について活動し、機会があれば報告会(発表会)を開催したい。 ・歯科治療率75%以上を目指す。 ・各学年に対して、がん教育のLHRを実施し、理解度を測るアンケートで80%をめざす。 			
	<p>1年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活動、学校行事に主体的に参加させる。 ・「一期一会」をテーマに、新しい人、新しいもの、新しい自分との出会いを大切にさせる。 ・SHR連絡は極力簡潔に行い、メモや手帳の活用を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的計画に関する学期毎の振り返りシートによる調査において、肯定的回答が増加することを目指す。 ・学校改善アンケート「部活動、各種委員会活動、瀬戸高祭、球技大会など生徒会活動に積極的に取り組んでいますか。」の質問項目において肯定的評価が80%以上を目指す。 			
	<p>2年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・服装や言葉遣い、ルール・締切の遵守、メモの活用等、1年次に習得した基本的な生活態度を応用させる。 ・情熱を持って文武両道を目指し、諸活動に主体的に参加させる。 ・楽しむときは大いに楽しみ、学ぶときは大いに学ぶ、メリハリのある学校生活を積極的に送らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的計画に関する学期毎の振り返りシートによる調査において、肯定的回答が85%以上になることを目指す。 ・学校改善アンケート「部活動、各種委員会活動、瀬戸高祭、球技大会など生徒会活動に積極的に取り組んでいますか。」の質問項目において肯定的評価が85%以上になることを目指す。 			
<p>3年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内諸活動に意欲的に参加する。 ・自分の進路実現に向け、積極的に進路研究に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事や部活動など、参加する意義を理解させ積極的に取り組ませる。 ・入試形態、科目など自ら調べ、入試に向け学校生活、家庭生活をデザインできるよう指導する。 				

③主体的に他者と関わり、健全で良好な人間関係を築き、その関係を基にした実践的なコミュニケーション能力の育成を行う。 (健康)	教務課 <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍にあってもICT機器等を駆使しながら、生徒が学校外とつながる機会を設ける。そのために、外部交流可能な情報提供を随時行い、多様な人々と積極的に交わる意識の高揚を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業や総探、ボランティア活動等で自ら学校外の人々と係わる機会を1人2回/年以上持つ。 ・海外研修や異文化に接する機会を1回/学期は提供し支援する。 					
	生徒課 <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶運動や日常生活の中で、気持ちの良い挨拶ができるようにする。 ・制服を正しく着こなし、基本的な生活習慣(遅刻をしないなど)が確立できるようにする。 ・生徒が交通ルールを遵守するように指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校改善アンケート結果で、昨年度数値を上回ることを目指す。(生徒77%, 保護者47%, 教員60%) アンケートの保護者記述回答では、瀬戸高生はあいさつができる、できない、の両方の意見があったので、肯定的な意見を増やしたい。 ・教員の挨拶・指導、生徒会、風紀交通委員による挨拶運動の中で適宜注意を促す。 ・学期に1回程度、下校指導(1週間)を実施するが、教員の一人あたりの負担は減らす。 					
	進路指導課 <ul style="list-style-type: none"> ・ひたぶるタイムがより協同的な取組となるように工夫し、クラス・学年、さらには学校外の人々と関わる機会をできるだけ多く設ける。 ・ひたぶるタイムの活動を生徒自らの「キャリア・デザイン」の形成に繋げ、社会の一構成員としての自覚を持って行動できる力を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1・2年生は、学年を越えてまたは学年全体・クラス全体での発表の機会を年2回は設ける。 ・1年生は外部講師を招いての講演会を学期に2回開催する。 ・2年生は、セト☆ラボの活動を通じて見出した研究課題をフィールドワーク等で深め、自身のキャリア・デザインの形成に効果的に結びつけていく。 ・キャリア・パスポートの活用を意識する。 ・学校改善アンケート(生徒)における総探への積極度を昨年度(88%)より高める。 					
	厚生課 <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の主体的な判断や安全意識の育成を図る。 ・救急法講習会の実施(進路選択の一助) ・悩みのある生徒への教育相談充実を進める。 ・生徒や保護者に向けての情報発信の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練の実施。自ら判断し危険を回避する能力を育成する。 ・希望者に対して、救急法講習会を実施し、学んだことを自分の人生に生かせるようにする。 ・スクールカウンセラー等の専門家の活用と連携を図り、生徒の内面的なケアに努める。 ・「保健だより」「健康通信」を通して、健康維持の啓発に努める。 					
	1年 <ul style="list-style-type: none"> ・自分からすすんで、気持ちのよい挨拶をする。感謝の気持ちを言葉にする。 ・好きなものや考え方が違って当たり前、先生や友人との対話を大切にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的計画に関する学期毎の振り返りシートによる調査において、肯定的回答が増加することを目指す。 ・学校改善アンケート「登下校時や校内で、自分からすすんで積極的に挨拶をしていますか。」の質問項目において肯定的評価が80%以上を目指す。 					
2年 <ul style="list-style-type: none"> ・気持ちのこもった挨拶をする。 ・先生や友人との対話を大切にする。 ・みんな違って、みんないい。互いを認め合い、尊重し、励まし合いながら進路実現に向けて自走する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的計画に関する学期毎の振り返りシートによる調査において、肯定的回答が85%以上になることを目指す。 ・学校改善アンケート「登下校時や校内で、自分からすすんで積極的にあいさつをしていますか。」、「学校で先生や他の生徒を1人の人間として尊重していますか。」の質問項目において肯定的評価が85%以上なることを目指す。 						
3年 <ul style="list-style-type: none"> ・学年、クラスなどでの良好な人間関係の維持に努める。 ・お互いを高めあえる雰囲気作りを図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各校内行事の協働する場面で、お互いを思いやる態度、意識を高める。 ・入試に向けての学習などで良いライバル意識を持つことにより、互いに切磋琢磨できる環境を作る。 						
いじめ対策委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・人権教育室、教育相談室などと連携をはかり、いじめの早期発見に努める。また人権教育講演会などを通して、人権・いじめに対する問題意識を高める。スタンドバイの活用と、各学期アンケートを実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度、いじめと認知される件数は3件(友人関係・学校生活での人間関係、部活動内での人間関係、SNS上での誹謗中傷)であり、うち2件は生徒課の指導を行い、その後見守っている状況である。 ・スタンドバイや各学期のアンケート結果をもとに、早期発見、解決に努め、いじめのない学校づくりを目指す。 						

④郷土・地域の将来を考え、周囲と連携しながら行動する力と社会変革の担い手としてイノベーションを起こし、エージェンシーを發揮する力の育成を図る。 (協調)	教務課	<ul style="list-style-type: none"> ・オープンスクール、学校説明会、ホームページ等の広報活動を充実させ、瀬戸高校の魅力発信を強化する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ更新数(65回)・アクセス数(1日平均123回)、中学校訪問の回数(32回)を前年度以上にする。 ・ブログの更新を教務課だけではなくすべての課で行えるようにし、学校全体で広報活動を担える体制をつくる。 			
		<ul style="list-style-type: none"> ・社会貢献活動先の開拓を進め、生徒が様々な活動に取り組めるようにする。 ・社会貢献活動の様子や成果を各連携先や保護者へ、報告書やHPなどで積極的に発信する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校改善アンケートの「社会貢献活動に積極的に取り組んでいると思いますか」に肯定的な回答をする保護者の割合が昨年度(43%)以上になる。 			
	厚生課	<ul style="list-style-type: none"> ・校外ボランティア活動の推進を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・瀬戸町学区、県教委などが主催する防災関連の行事に生徒が参加し、救急法や防災に関する学習内容を伝える。また、教員も防災関連の研修等に積極的に参加する。 			
	全学年	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人ひとりが自ら進んで探究活動等を深め、校内外でその成果を積極的に発信できるよう促す。その結果として、生徒の内的動機付けを高め、イノベーションを起こし、エージェンシーを發揮する力の育成を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・担任や学年団をはじめ、関係教員が生徒の進路希望等を把握しながら、校内外での発信の場を適切に選択・提供し、昨年度以上の積極的な参加を促す。 			
<ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人ひとりに「社会変革の担い手」であることを意識させ、ひたぶるタイム等の活動に主体的に取り組ませることで、社会に参画する積極性を向上させ、キャリア意識を高めるとともに、自己肯定感・自己有用感を高める。 		<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で活動が制約される場面も多いが、オンライン等も効果的に活用しながら目的を達成したい。アンケート「地域や社会をよりよくするために何をすべきか考えることがあるか」の肯定的な回答が前年度以上となる。 				